ECOMUSE

資料館だより

No.15
2007年
11月号

過去と未来がひびきあう
ーようこそ、エコミューズへ。
www.aozora.or.jp/shiryou/

あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
エコミューズ

あおぞら財団機関紙『リベラ』
11月号特集は「記録のひろば～エコミューズ」

あおぞら財団では隔月で機関紙『リベラ』を発行しています。毎号テーマを決めて特集を組んでおり、11月号（No.99）の特集は「記録のひろば～エコミューズ」です。内容は、嵯峨創平氏（NPO環境文化のための対話研究所代表）による「地域再生の『道具』としてのエコミュージアム」や、入江智恵子氏（大阪市立大学大学院生）による「研究に役立てています」などです。

埼玉大学の安藤ゼミのメンバーたち（9月25日）

また、埼玉大学の安藤聡彦ゼミが9月25日に訪れた様子を紙上再現しています。学生たちの感想文からはその日に学んだことが生き生きと伝わってきます。エコミューズを学びの場として利用するときの具体例として、ぜひご一読ください。

機関紙『リベラ』は、あおぞら財団の賛助会員には送付されます。どうぞご入会ください。（年会費＝個人一口5,000円、団体一口10,000円）詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.aozora.or.jp/

テープおこしの有償ボランティア
引き続き募集中

前号で西淀川地域研究会のテープおこしの有償ボランティアを募集したところ、5名の方から声をかけていただきました。おかげさまで、テープおこしが着々と進み、西淀川にまつわる30～40年前の話が共有できる状態になりつつあります。原稿を見て「ニヤニヤ」してしまいます。ありがとうございます。

まだまだテープもありますので、ボランティア募集中です。その他にも「エコミューズでこういうことがやってみたい！」という希望も受け付けていますので、気軽に声をかけてくださいね。※テープの録音時間30分につき3,000円。

エコミュウ特派員レポート

児玉和人（大阪経済大学現代GPアシエイト）

9・10月ケース展示「西淀川の自然と交通をマップで診断ーセミのぬけがら＆自転車マップー」展を拝観して

あおぞら財団は、本年9月、10月に西淀川区図書館に「西淀川の自然と交通マップで診断ーセミのぬけがら＆自転車マップー」の企画展を行っている。私は、環境に優しい自転車利用の促進のための自転車マップと8月18日に実施した西淀川区における乾燥化、温暖化の指標としてセミの抜け殻調査の概要を知ることが出来た。以下では、その感想を述べたい。

西淀川区のセミ調査は、8月18日に西淀川区の小学生67人が参加して行われた。セミ調査は、都市部の乾燥に強いクマゼミ、地面の湿地に多く生息するアブラゼミと生息地域に特徴があり、特定地域の抜け殻の過多が地球温暖化の指標と考えられている。小学生達は、西淀川区の公園でセミの抜け殻を拾い集めて、その調査の内容をカラフルな色彩の『セミ新聞』に編修したのである。その内容からすれば、セミ生息地域は、クマゼミが圧倒的に多いことが分かる。地球温暖化が進展しているのか気になった。

展示ケース

西淀川区の自転車マップは、もう一つの狙いとして住民に自転車利用上の危険箇所を注意喚起することにある。マップは、あおぞら財団の研究員と西淀川高校の教員、学生が実際に自転車走行することで製作された。マップは、自転車走行上の危険箇所がポイントごとに整理されていること、西淀川区の観光名所や景勝地がなごみスポットと紹介されている。たいへん秀逸な地図と感じた。

図書館では、子供達が集まって『セミ新聞』や自転車マップを真剣なまなざしで見ていた。彼等が大人になる頃には、安全に自転車走行が出来て、セミの抜け殻の調査が可能となるのだろうか。

エコミューズメンバー紹介

資料整理や窓口業務にお二人のアルバイトが新しく加わりました。樫本さんは9月から、石川さんは10月から週1日～2日、来ています。

どうぞお気軽に

縁あって、この9月からエコミューズで資料整理のお手伝いをすることになりました樫本です。開館日の金曜日に、エコミューズ館内で仕事をしている（怪しい？）男性を見かけたら、たぶんそれが私です。

作業をする樫本さん

まだ、所蔵資料について詳しくお答えすることはできないかもしれませんが、お気軽に声をかけて下さい。資料をご利用される方のご希望に沿えるよう、協力させて頂きます。今後とも、よろしくお願いします。（樫本喜一）

証言の重み感じて

このたびエコミューズでアルバイトをさせていただくことになりました。資料の電子化を手伝うのがおもな仕事です。

石川さん

始めたばかりですが、記録することの重要性とそれを整理して保存することの困難さにあらためて気づかされます。裁判での証言の筆記録である「証人調書」を初めて目にし、証言の重みを強く感じました。西淀川の公害訴訟に関わってきた人びとを詳しく知るのは貴重な体験で、仕事にくるのを楽しみにしています。（石川遼子）

やかた館訪問記

その14.
共に生きる人に優しい経済専門図書館
大阪経済大学図書館
大阪市東淀川区大隈２－２－８
http://www2.osaka-ue.ac.jp/tosyokan/

大阪経済大学図書館は、1932年に旧制浪速高等商業学校図書館として創設されたのが始まりである。同図書館の蔵書数は、経済学・経営学の社会科学系書籍55万冊、視聴覚教材1万点に昇る。全ての蔵書は、学内外のデータベースで検索可能と管理が行き届いていることも特徴の一つだ。

エントランス

中のカウンター

蔵書の特徴は、アダム・スミス『国富論』初版版、カール・マルクス『資本論』初版本、中小企業、経済学書の文献に貴重な書籍が多い。年2回の申込期間に利用料金1千円添えて申請を行えば、誰もが利用可能である。（児玉和人・大阪経済大学現代GPアソシエイト／2007年10月30日訪問）

＊お知らせ＊

エコミューズ活動資金【ハモン基金】寄付協力のお願い

Hamon基金

●ハモン基金とは
エコミューズの活動を継続的かつ発展的にすすめていくための活動資金です。西淀川公害に関する展示物やガイドブックの作成、企画展の開催、資料の収集と整理、資料の保存や閲覧環境の整備のために使います。一人ひとりの気持ちが波紋のように広がることを願って・・・エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。

●寄付の方法
郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。
【一口】十万円／一万円／千円
【口座番号】
００９６０－９－１２４８９３
【加入者名】あおぞら財団
※通信欄に「ハモン基金への寄付」とご記入ください。
一口の金額はお選びください。寄付者のお名前は報告書やホームページ等に記載させていただきます。ご都合の悪い方はその旨ご連絡ください。

ボランティア隊「エコミュウ★」募集

あなたも「エコミュウ★」に入っちゃお！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給（上限１０００円）どうぞお気軽にお問い合わせください。

編集後記

今号はアルバイトやボランティアの方からの原稿を掲載することができました。『資料館だより』の制作工程を体験研修しに来たKさんには、財団事務所に着くなり、西淀川図書館に取材に行っていただきました。ご苦労さまでした。これからも、いろんな人たちの手によって『資料館だより』を産み出していけたらと思います。

資料館だより No.15
2007年11月号（隔月１日発行）

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
（エコミューズ）

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou/

エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館●月曜日、金曜日（祝日は休み）
10:00AM～5:00PM [要予約]
利用●図書の貸し出し期限は2週間
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ